



# 小川中だより "燦々Ⅱ"

自主  
性  
敬  
愛

No. 21 令和1年10月11日(金)発行 文責：いわき市立小川中学校長 津田 直人

## <市中体連新人大会の結果②>

10月5日(土)、6日(日)に、野球とバスケットボールの新人大会が行われました。5日の土曜日は秋晴れで日差しが強い1日でしたが、6日の日曜日は小雨模様の肌寒い1日でした。そのような天候の変化がある中、生徒たちは勝利を目指して、最後まで一生懸命プレーしました。結果は次のとおりです。

### <市中体連新人大会の結果②>

○野球	1回戦	対	草野中	3-9	で惜敗
○バスケ男子	2回戦	対	平二中	46-45	で勝利
	3回戦	対	小名浜二中	43-51	で惜敗
○バスケ女子	2回戦	対	平一中	56-31	で勝利
	3回戦	対	中央台南中	35-77	で惜敗



これで、本校部活動の市中体連新人大会は、すべて終了となりました。生徒の送迎及び応援等では保護者の皆さんに、大変お世話になりました。改めてお礼申し上げます。この後は、バドミントン個人戦とハンドボール部が、11月の県大会に出場します。日時等が決まり次第、学校だよりでお知らせいたします。

市中体連新人大会後の部活動については、先週の学校だよりでお知らせいたしましたとおり、県大会に出場するバドミントン、ハンドボール部は、県大会まで今までと同じ時間帯(18:30活動終了、18:45完全下校)となります。また、美術部、吹奏楽部については、文化祭までは今までと同じ時間帯(18:30活動終了、18:45完全下校)となります。これ以外は、18:00活動終了、18:15完全下校となります。送迎等の時間の確認をお願いします。

これからは各部とも冬期間の練習に入ります。日没も早くなると共に、徐々に寒さも厳しくなってきます。しかし、県内の他地域に比べると、いわきは環境的に恵まれています。この時期に基礎体力の強化、基本的なプレーの正確性の向上、連携プレーの確実な習得など、基本的な練習をしっかり行い、来年につなげてほしいと思います。

## <英語検定試験を実施>

10月4日(金)の放課後に第2回英語検定試験を実施しました。今回の受験者は12名で、準2級(高校程度)に2名、3級(中学校卒業程度)に5名、4級に1名、5級に4名が挑戦しました。

4級、5級については今回の筆記試験で終了ですが、準2級と3級は今回が一次試験となります。この一次試験に合格すると、11月3日(日)に二次試験(英語による口頭試問)を行います。3学期にも3回目の検定試験を予定していますので、積極的にチャレンジして、英語力を高めてほしいと思います。

## <社会科の研究授業を実施>

10月7日(月)に1年1組で社会科の研究授業を行いました。題材は「藤原氏の摂関政治」で、3つの資料(公卿に占める藤原氏の割合、藤原氏の収入、藤原氏の系図)をもとに、「摂関政治とはどのような政治なのか」、「藤原氏は約200年も摂関政治を続けられた理由は何か」を追究する授業でした。生徒たちはじっくりと資料に向き合い、友達と意見を交換しながら一生懸命、課題追究に取り組んでいました。



## <クリーン作戦を実施>

10月8日(火)の6校時に第2回クリーン作戦を行いました。当初の計画では10月4日(金)に実施の予定でしたが、雨天のため順延しました。1年生は校庭の除草、2・3年生は学級ごとに分かれて、学校周辺地域のゴミ拾いを行いました。天気が心配されましたが、予定通り活動することができました。



## <後期生徒会総会を実施>

10月9日(水)の5・6校時に、後期生徒会総会を行いました。総会に先立ち、後期の生徒会執行部、専門委員会役員、学級役員への任命書授与を行いました。総会では、生徒会執行部と各専門委員会の後期活動計画が提案され、質疑応答の後、賛成多数で承認されました。『無遅刻運動』は、目標であった150日を達成し、次の目標を250日に設定して取り組んでいます。後期の活動も自主的・積極的に行えるよう、支援していきます。



後期生徒会長あいさつ



生徒会執行部から



議長団による議事進行



各専門委員会から

## <中間テストを実施>

10月10日(木)に、2学期中間テストを実施しました。市中体連新人大会や夏井祭に向けた準備活動がある中でのテストとなりました。定期考査の目的は、授業で学習した内容をどれだけ理解しそれらがどれだけ定着しているかを確認することと、学習する過程で発揮した思考力・判断力・表現力等がどれだけ身に付いているかを確認することにあります。

中間テストについては、今年度から1学期の中間テストをなくし、2学期のみの実施としました。1学期は年度当初の行事が多く、また、ゴールデンウィーク等の祝日も多くことから、例年、4・5月の授業で学習する範囲(テスト範囲)が少ない状況にありました。2学期は授業日数が1学期よりも多いため、中間テストを実施することにしました。今年度の実施状況を踏まえて、定期考査(中間・期末)の実施(回数や実施教科)について、検討をしていく予定です。

## <読書感想文コンクールで入賞>

例年行われているいわき地区読書感想文コンクールに、本校からも生徒作品を出品しました。その結果、6名の生徒が入賞となり、今週の生徒会総会の前に表彰を行いました(先日、学校だよりで紹介した英語弁論大会、大漁旗アートコンクール、市中体連新人大会についても併せて表彰)。入賞者は、次のとおりです。※敬称略

<入選> 草野 聡一郎(3-2)  
 <佳作> 今野 愛瑠(1-1) 小林 恭佳(1-2) 大山 凜々(2-1)  
 川田 真優(2-2) 鈴木 明日香(3-1)



## <高校入試実施要綱説明会>

10月10日(木)に、令和2年度県立高校入学者選抜実施要綱の説明会がありました。来年の3月に実施される県立高校入学者選抜から、新しい制度での実施となります。すでに概要はお知らせしてありますが、再度、その概要を掲載します。

- <前期選抜> ※①、②のいずれかの方法で受験する。
- ①特色選抜 学力検査(傾斜配点も可)、特色選抜志願理由書、調査書、特色面接、特色検査(実技等)によって、総合的に合否を判定する。
- ②一般選抜 学力検査(傾斜配点、自己申告による傾斜配点も可)、調査書、一般面接によって、総合的に合否を判定する。
- ・傾斜配点とは、各高校が特定の教科の学力検査の配点の比重を変えること。自己申告制を採用する高校もある。
  - ・一般選抜において、各高校で学力検査と調査書の成績の比重を変えることができる。この場合、傾斜配点(自己申告の場合も含む)は実施しない。
- <連携型選抜>
- 連携型中高一貫教育を実施している高校で実施する。
  - 学力検査(傾斜配点も可)、調査書、連携型面接、連携型検査によって、総合的に合否を判定する。
  - ふたば未来学園高校については、弾力的に取り扱う(震災前に双葉郡に居住していた場合は、避難先の中学校からの受験も可)。
- <後期選抜>
- 前期選抜及び連携型選抜に合格した場合は、出願できない。
  - 前期選抜及び連携型選抜により定員を充足していない高校・学科で実施する。
  - 調査書、面接、小論文(又は作文)によって、総合的に合否を判定する。

## 【来週の予定】

月 日	曜日	給食	お も な 行 事
10月14日	月	△	体育の日
10月15日	火	○	短縮授業 火①②③④金⑤総の順 SC・司書来校
10月16日	水	○	短縮授業 ノー部活デー 第2回ふれあい弁当デー(弁当持参)
10月17日	木	○	短縮授業 木①②③④総総の順
10月18日	金	○	短縮授業 金①金⑤総総総総の順
10月19日	土	×	特別時間 弁当持参 夏井祭